［昭和十一年三月二十六日　第三種郵便物認可］　昭和十一年三月二十六日　磐城新聞　［木曜日］　第四千五百八十二號　〔一〕

幼稚園を正しく認識して下さい

（二）

内山憲堂

幼稚園の使命につきましては前に述べた通りでありますが、幼稚園の教育は兒童の自然生活を淨化し、幼兒を入園させる動機を調べて見ると、幼稚園の使命なり性質なりを正しく理解して共に手を提へて幼兒の父さん型である。第二は家庭に置くと小遣を一日すが第一は、たゞ漫然と入れようと云ふノンキな母たちと、幼稚園を間違つて入園させてゐる父母とがたちにもいろいろありますが、子供も行きたいと云ふし、害にもなるまいから入れようと云ふノンキな父さん型である。第二は家庭に置くと邪魔になつて仕方がない、せめて五時間でも幼稚園へ出して置けばたすかると云ふ厄介拂ひの考へで保護して貰ふつもりのお預り型。第三は近所でもみんな子供を幼稚園へ出してゐるから、こちらも出さうと云ふ父母の虚榮のため、近所のつき合ひに入園させると云ふ、つきなり易いのであります。

三、家庭と幼稚園

『子を見ること親に如かず！』と申しますが、これは可成り成人してからの子供に對しての言葉でどうかすると偏愛に陷つたり、嚴格すぎたりして『親馬鹿』になります

必要であります

幼兒を入園させる動機を調べて見ると、幼稚園の使命なり性質なりを正しく理解して共に手を提へて幼兒を伸ばさうと云ふ正しい父母たちと、幼稚園を間違つて入園させてゐる父母とがあります。間違つてゐる人たちにもいろいろありますが第一は、たゞ漫然と入れてゐる人で、子供も行きたいと云ふし、害にもなるまいから入れようと云ふノンキな父さん型である。第二は家庭に置くと邪魔になつて仕方がない、せめて五時間でも幼稚園へ出して置けばたすかると云ふ厄介拂ひの考へで保護して貰ふつもりのお預り型。第三は近所でもみんな子供を幼稚園へ出してゐるから、こちらも出さうと云ふ父母の虚榮のため、近所のつき合ひに入園させると云ふ、つきなり易いのであります

勉強は酬ゐらる

第三校優等兒童

（四ノ一）國分喜代學　江尻光男　菅野光洋　諸橋英雄　田邊昇　大越啓行　若松英信　吉田良次（四ノ二）鈴木健三　鈴木博士　志賀武夫　横山一郎　牛澤三男　新家武芳　國分勳　酒井博（四ノ三）五十嵐田紀子　吉田和子　谷島永子　吉市和子　遠藤文子　布施敏子　高木民子（四ノ四）三森孝子　鯨岡美喜　丹野幸子　西都京子　大竹ノリ子　鴨原正子　松本綿子（一ノ四）吉田カヅ　橘タイ子　相澤エン子（二ノ一）荒木晴久　鈴木理四郎　酒井等（二ノ二）橋田國雄　鈴木英　鈴木榮一（二ノ三）國井太美子　花澤ミヤ　菊地久枝（二ノ四）川島扶美子　馬目サキ子　篠原ツヤ（三ノ一）高尾光之　鶴山利雄　馬目英雄（三ノ二）松本光一　殿塚輝男　福本武雄　（三ノ三）遠藤みみ　相澤キヨ子　鴨原仁子（三ノ四）堀内昭惠　齊藤ケイ　木下キヨ子　（四ノ一）丹野皓司　高羽文子　佐藤方子　鈴木立尻光男　菅野光洋　諸橋英雄　田邊昇　大越啓行　若松英信　吉田良次（四ノ二）鈴木健三　鈴木博士　志賀武夫　横山一郎　牛澤三男　新家武芳　國分勳　酒井博（四ノ三）五十嵐田紀子　吉田和子　谷島永子　吉市和子　遠藤文子　布施敏子　高木民子（四ノ四）三森孝子　鯨岡美喜　丹野幸子　西都京子　大竹ノリ子　鴨原正子　松本綿子（一ノ四）吉田カヅ　橘タイ子　相澤エン子（二ノ一）荒木晴久　鈴木理四郎　酒井等（二ノ二）橋田國雄　鈴木英　鈴木榮一（二ノ三）國井太美子　花澤ミヤ　菊地久枝（二ノ四）川島扶美子　馬目サキ子　篠原ツヤ（三ノ一）高尾光之　鶴山利雄　馬目英雄（三ノ二）松本光一　殿塚輝男　福本武雄　（三ノ三）遠藤みみ　相澤キヨ子　鴨原仁子（三ノ四）堀内昭惠　齊藤ケイ　木下キヨ子　（四ノ一）丹野皓司　高羽文子　佐藤方子　鈴木立（六ノ一）松本英一　菊地榮雄　橋本孫四郎　木村康　澄川欣司　佐藤一士　橋本金次郎　（五ノ二）橋本克巳　鈴木斧吉　竹村弘波邊七郎　田村貴德　野澤芳男　松崎佐二郎（五ノ三）藤ヶ子　飯澤キヨ子　百澤英子　三井敬子　野澤登記枝　永島佳子　影山サト子　鈴木文子　工藤甲子　林清子　山崎恒代　酒井富貴子　江尻碩子　横山安子　進歩賞（一ノ一）小野姓廣　鹽田忠男　河田浩（一ノ二）菊地升雄　鈴木幸男　菅波淳（一ノ三）（六ノ一）寺門武彦　吉田直一　藤田信藏　猪狩侯文　片澤芳男　小松伸太　小野貫司　諸橋金彌　鈴木剛二　鈴木英雄（六女）　目サキ子　篠原ツヤ（三ノ一）高尾光之　鶴山利雄　馬目英雄（三ノ二）松本光一　殿塚輝男　福本武雄　（三ノ三）遠藤みみ　相澤キヨ子　鴨原仁子（三ノ四）堀内昭惠　齊藤ケイ　木下キヨ子　（四ノ一）丹野皓司　高羽文子　佐藤方子　鈴木立（六ノ一）松本英一　菊地榮雄　橋本孫四郎　木村康　澄川欣司　佐藤一士　橋本金次郎　（五ノ二）橋本克巳　鈴木斧吉　竹村弘波邊七郎　田村貴德　野澤芳男　松崎佐二郎（五ノ三）藤ヶ子　飯澤キヨ子　百澤英子　三井敬子　野澤登記枝　永島佳子　影山サト子　鈴木文子　工藤甲子　林清子　山崎恒代　酒井富貴子　江尻碩子　横山安子　進歩賞（一ノ一）小野姓廣　鹽田忠男　河田浩（一ノ二）菊地升雄　鈴木幸男　菅波淳（一ノ三）（六ノ一）寺門武彦　吉田直一　藤田信藏　猪狩侯文　片澤芳男　小松伸太　小野貫司　諸橋金彌　鈴木剛二　鈴木英雄（六女）

（四）松崎幸子　勝尼米子　大竹ノリ子　鴨原正子　松本綿子（一ノ四）吉田カヅ　橘タイ子　相澤エン子　田中富美子　芳賀ミサ子　今田美代子　高木機惠子　平島勝榮　阿部愛子　松崎喜江（六男）寺門武彦　吉田直一　藤田信藏　猪狩侯文　片澤芳男　小松伸太　小野貫司　諸橋金彌　鈴木剛二　鈴木英雄（六女）　目サキ子　篠原ツヤ（三ノ一）高尾光之　鶴山利雄　馬目英雄（三ノ二）松本光一　殿塚輝男　福本武雄　（三ノ三）遠藤みみ　相澤キヨ子　鴨原仁子（三ノ四）堀内昭惠　齊藤ケイ　木下キヨ子　（四ノ一）丹野皓司　高羽文子　佐藤方子　鈴木立

雛まつり

清野重郎

○子のために雛まつりせむ日は近しせがまれて寒つ雛買ふ店に
○とりどりのあかるきばかり緋にはえて雛のおほよそ形ととのふ
○目に立ちて手ぶりやさしき雛なれば貰はなと思へ錢ともしかり
○夕ぐれて寒さゆるびぬ雪消ゐの露地やはらかに下駄の歯の跡
○おのづから火に寄り添ひてかざしたる手と手と向ひしばし言なし
○手かざして火鉢に寄り合ふ二月の眞夜の寒さは室に染みけり

冬雜詠

瑞夫

氷柱越しの陽にぬくもりぬ小舍の鶏
氷靴か汗ばんでゐるおろりばた

向造

ひそとして夜の間にふりし雪尺餘
朝寒や凍ねし指の固うして
雪解けて垂氷々々の雫かな

賀友人當選國會議員

珠峯　小野勘平

舌戰三旬懷抱明
堂々陣伍肅而清
萬人選出爲才士
荷得輿望任不輕

講談

黄金魔鳳

（108）　高桑義生作

樋口悦也畫

紫巾黨——大阪をのがれた彼等は、守口村の農家に一時の隱れ場を求めた

竹内主計、お雪のあとから、友部左衛門、矢島金兵衛、三上屋お多津そのほか同志の主なる者十餘人

紫巾黨——大阪をのがれた彼等は、守口村の農家に一時の隱れ場を求めた

竹内主計、お雪のあとから、友部左衛門、矢島金兵衛、三上屋お多津そのほか同志の主なる者十餘人

ぼつた親子としか見えなかつた

二人は西本願寺前の宿さはら屋といふのに草鞋をぬいだ。主人久七が同志の一人なので、寛之助を捜す人

彼等は人に聞かれる心配のない座敷で密談をした。

久七が語る

『島原屋は安治川口につないである持船の中に疑泊りまして居ります。娘の行方がわからなくなつたので、その捜索に夜の目も寢ずの有様……』

『勿論ぢや。だが、判然とはわからぬといふのです。島原屋が故意に知らぬ顔をして、寛之助さんをさういふ立場に落し込んだのか、久七殿、しかし斷言は出來ぬのですな』

『左樣です。役人どもが極祕の事、果して牢につながれたものか、その實否はわかりませんので——。あの際目擊した者がない。また假りに赦されたならば寛之助さんは島原屋の者と一緒に當然舟の中に居らなくてはならぬのですが、彼の船の中には、たしかに居らぬといふ調べです』

寛之助はどうしたのか？

あくる日、友部左衛門は仲仕人足となつて安治川口の船着場に入り込んだ

港はいつも雜沓だ

今しも順風に帆をあげて一艘の出船がある。それが島原屋の持船有明丸とは友部左衛門知るよしもなかつた

『まあ、あのくわん之助さんはまた暗い處へ……』

とお雪が顔を曇らした

『どうやら、さういふ事になつたらしいのです』

『おゝ……』

お雪は悲しげに、眼をうるませ

『助けて下さい、友部樣……』

『ほゝう……』

と左衛門は眼をまるくした。豪快な溫顏に、瞬間鋭いものが閃いた、疑惑が額に深い八の字をきざんだ

『あの夜、稻荷山の燒跡に立入つた寛之助なる仁はこれまた奇怪至極の事で、梅津文子　小池光子（四ノ四）有我悦子　菊地孝小賀坂喜佐子　（五ノ一）小林育男　小野寺輝雄　（五ノ二）鴨山正美　長瀨孝雄　（五ノ三）鈴木ユサ子　佐藤榮子　本幡トミ子（五ノ四）國井清子　白土フク　青山トヨ（六男）阿部武　荒木勝彌　宮原誠治　井上明　鈴木高光（六女）志賀綾子　佐藤久代　高木英子　荒川悦子　高萩芳子

梅津文子　小池光子（四ノ四）有我悦子　菊地孝小賀坂喜佐子　（五ノ一）小林育男　小野寺輝雄　（五ノ二）鴨山正美　長瀨孝雄　（五ノ三）

『あの夜、稻荷山の燒跡に立入つた寛之助なる仁はこれまた奇怪至極の事で、

『ソレム……』

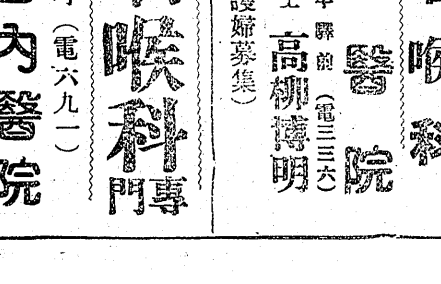
『其處へ、島原屋とその附人の武士——箕部とか申しましたな、駈けつけて參つたので、當然寛之助なる仁は兩人の取りなしで赦されなくてはならないのですが——その間の事情がはつきりしません。島原屋が取りなしで、それでも赦されなかつたものか？』

前田醫院

院長　前田清美

植田町電話一二四

廣告



御宴會

…サービス自動車…

團体十人樣以上には御迎ひの自動車を差上げます。
（北は本町・南は植田町まで）

毎度格別の御愛顧いたゞき難有く御禮申上げます。
愈々御宴會季節と成りましたので・御宴會の御下命賜り度。
團体樣には德用な下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申上げます。

松印	3.50	御會席七品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式
竹印	3.00	御會席六品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式
梅印	2.50	御會席五品付（外果物。御飯香物）藝妓花代。御酒。入浴料。サービス料	共一式

但十人樣以上ノコト　藝妓ハ五人樣毎ニ一人二時間（松印ニ限リ半玉十人樣ニ一人付）御酒ハ御一人銘酒二本ヅヽノコト

◎お申込みは時節柄なるべく至急下記へ

お問合せは電話（小名濱）103番
通話料は弊館にて負擔いたします。

小瀧鑛泉　瀧乃湯旅館
電話103　割烹部

磐城代表的の土産品

靈峰羊羹　里。柿羊羹　各一本金十錢
海。のり羊羹
右美麗三本箱入特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です

小賣御希望の方お申越下さい。

小川鄕驛前
製造發賣元
平屋賣店

平町田町（電五三一番）
高久病院
院長　高久思
醫學士　高羽南
新潟醫學士　赤竹菊雄
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

產婦人科　外科　藥局

院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　大岩俊雄

平町新川町十九番地
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

生徒募集

祖國を愛する女子は來れ！
大自然に親まんとする女子は來れ！
花を愛で野菜を撫育し趣味の生活を求めんとする女子は來れ！

磐城家政學園（平町八幡小路）

◎本科　隨時提出四月二日まで……學則進呈
◎專修科　授業開始四月二日より……
◎別科

鰹節と干やなぎは

宍戸屋商店

平町四丁目
電話（鹽十部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

日華生命保險株式會社代理店
外務社員募集
（委細面談）

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町鍛冶町十八

債券　公社債
現物買賣
擔保貸附

日本商事株式會社平支部

名湯　鹿の湯

湯之網鑛泉

二百餘年の昔、病める鹿が浴してゐたといふ鑛泉!! 昭和の今もこん〳〵と溢れ湧いて、バスを降りれば半里位の山間に、美しい風光と共に、浴客をお待ちして居ります。
効能……神經衰弱、神經痛、リウマチス、胃腸病、子供の蟲氣、婦人病
○平町から日歸り御入浴もラクです。
○關本驛、磯原驛からバスの便あり。
○關南村役場で、御案內致します。
○自炊なさる諸道具ととのつてゐます。

茨城縣多賀郡關南村湯之網
（女中募集）　元湯　松屋旅館
親津さよ

◎御滯在、團体は割引致します。

耳鼻咽喉科

高柳醫院

平驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明

（入院應需）
（自炊ノ便アリ）
（看護婦募集）

耳鼻咽喉科專門

病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
山內醫院
醫學士　山內亨吉

今後二ヶ年を要する 鮫川堰繼續工事促進

組合側で對策協議

總工費三十八萬圓を投じ昭和八年以降四ヶ年繼續事業で十九萬圓の工事ですら隧道として施工中の鮫川疏水復等の關係から今後尙二ヶ年の二ヶ年で上遠野村皿貝地内取入口より同村縣道架橋縣當局に繼續促進の運動を續けて來たが昨二十四日第二期を十年度から施工する事となつてゐたが縣當局から未だ施工の運びに至らず殘餘工事を協議する處あつた

中國庫補助の分たる工費二十九萬圓の工事ですら隧道跨る二十三萬七千七百坪は既報の如く八、九ヶ年で上遠野村皿貝地内取入口より同村縣道架橋縣當局に繼續促進の運動を續けて來たが昨二十四日第二期を十年度から施工する事となつてゐたが縣當局から未だ施工の運びに至らず殘餘工事を協議する處あつた

總額六萬六千圓 平稅務署管内十年分鑛産稅額

最低は何と卅三錢也

今稅務署管内の十年度分鑛産稅は此程決定した、總額六萬六千二百七十二圓九十七錢（二八件）で一口最高が七錢（二八件）で一口最高が二萬六千二十四圓八十八錢で磐城一號の二萬三千八百二あると

總額井村沖炭礦の何と三十三錢也、尙磐炭の總額（三口）は

清酒品評會入賞決定

十年連續優等の小錦 けふ賞狀授與式擧行

石城清酒造組合主催第十七回清酒品評會は去る二十三日から二十五日迄平稅務署に開いた、出品百六十餘點（入員三十五名）仙台稅務監督局技手岩澤駿一郎氏審査の結果入賞を左の如く決定今二十五日午後二時から同署樓上でこれが授與式を擧行した

△（既往名譽賞）特別名譽賞十ヶ年繼續優等小錦一　高久村和泉屋酒造本店

名譽賞五ヶ年繼續優等五馬の雪一　松本德一　福鶴

（優等賞）鶴仙一　平窪松吉屋酒造店　福美一　內郷村四家酒造店　松の友一　草野村豊田吉松　近盛一　內郷馬目合名會社（特選賞）天宅一　平町山崎元三郎　千代錦一　綿村正水次郎兵衛　長生一　小名濱町磐崎屋商店　稻娘一　植田町古川傳一　伊勢盛一　江名町

近藤吉松　平玉一　平町丸玉合名會社　花井の譽一　勿來町大平睦四郎　鯉鯛一　磐崎村大平美喜（入選賞）　豊仙一　豊間村馬目仙寸郎　竹仙一　三阪村熊谷長一　正駒一　永戸村會田正一　磐州一　植田町鷲

晴やかに笑む 平第一校優等生

二

（五ノ一）中島恒　小野晃　平　野田臣男　吉田敬治　黒澤範雅　磯上剛　御代一郎　馬目欣之助　梅原喜男　本多正行　本多茂方　片寄武夫　中澤幹太郎　清水俊政（五ノ二）大谷繁雄　鈴木滿男　小園井邦男　横山榮一　藤田文朗　橋本喜　水野敏夫　稻邊昇一　酒井泰　小谷平四郎　田村尙顯　二片英治　水野谷正　長谷川利夫（五ノ三）石川榮一　武田邦彦　岡田孝平　關原進　鍋田三省　牧野好夫　大塚定　豊田聰明　渡邊通　齋藤晃一　酒井平　相川一雄　薄葉忠久　水野榮三（六ノ一）三井眞一　鈴木善彌　櫻井博　齋藤齊　遠藤好一　大塚勇　高啼仁　飯沼賢一　吉田之衛　野節　鵜沼功　飛田常重　小林忠義　齋藤修三（六ノ二）村正木秀夫　山崎常三郎　松本眞平　鈴木重雄　渡邊弘道　小齋賀　中川圭二　小山田俊夫　新妻幸男　西岡亭　吉江一行　小島弘文　關內新一（六ノ三）龜山正邦　飯島登司　小松崎富夫　岩崎宏次郎　門馬政衛　諸橋英二　會澤三郎　新妻唯男　根本幸一郎　眞野富夫　鈴木一郎　平谷英二　永野節　（高一ノ一）佐藤滿夫　竹村彌實　鈴木芳男　大畑俊男　片寄文夫　伊藤俊夫　會川貞雄　松本友彌　渡邊政之　吉田一郎　金成忠美　江原正太郎　東條正一　武藤金吉　加藤浩平　吉田和佐美　大島桓　木田菊喜　多田井悠雄　伊藤力　近藤正二　入江正義　倭文誠　松崎文吉　矢野博　田島秀則　吉田伴五郎　長谷川賢太郎　長谷川勝三　草野一之（二ノ一）藥谷公義　田中忠太郎　柴澤松榮　佐藤進　新妻常雄　小谷磐夫　柴田健治　篠山武　遠藤俊六郎（二ノ二）富田正一郎　金成忠美　江原正太郎　東條正一　武藤金吉　加藤浩平　吉田和佐美　大島桓

激勵の言葉に感じ 母校備品を寄附

感心な栗田ケイ子さん

卒業生美談

平町三丁目一〇民三郎長女栗田ケイ子（六）さんは今春優秀な成績で第二小學校高等科を卒業したが、數度に亘り級長を勤め卒業當時も二組（古市訓導擔任）の正組長で石城教育部會の部會賞を獲得したこと勿論だが、先頃施行された福島の產婆看護婦學校入試に應じ、十五名採用に百五十數名の應募あつた難關を見事一番で合格した、それが全滿點といふ同校の入試始つて以來拔群の優秀成績だつたため同校經營の大原病院にも行かず勉強して呉れ長から

卒業までこの出色の成績を續け後輩の模範となつて呉れ、卒業後も優先採用するから（同校卒業の優等生は同病院採用する例となつてゐる）何處

所澤機（四）不時着

小名濱と岩間海岸に 搭乘者は何れも無事

昨二十四日午前十時四十分頃小名濱町松の內海岸に突、飛行機三台が相前後して不時着し漁夫連を驚かせた、右は所澤飛行聯隊59式一型練習機二、〇二二號（外村義雄少尉操縱）並に92式偵察機510號、105號で偵察機二機は同十一時五十分離陸、練習機は一部破損個所を修理の上同日午後何れも原隊に向つた、前記三機は仙台から所澤に向ふ途中濃霧のため飛行不能に陷り遂に不時着したもので搭乘者は無事

尙同日午前九時四十分頃植田町岩間海岸にも所澤飛行學校丹波少尉操縱の92式偵察機が不時着、地盤軟弱のため八十五米を滑走顚覆發動機プロペラを破損飛行不能に陷る機体を解体する事となつた

今日を喜びの日

——平第二校優等生——

二

（六ノ一）梅津吉子　阿部みさほ　關原芳枝　木村アイ子　大槻恒子　花澤アヤ子　金子トミ子　關內井アキ　今井久子　關內敏子　增井セツ　横山タカ子　（六ノ二）關內滿壽子　野口ナヱ子　木田秀子　菅本幹子　長谷川啓子　三浦榮子　松崎ヒデ　齋藤シウ　鵜沼久仁子　高田アイ子　松本ミサ　丸山照子（六ノ三）酒井良子　原つね子　田仲一ヌヨ　鈴木良子　椎名トキ　坂本勝子　川角京子　齋藤ヨシ子　鈴木光子　江尻キヨ子　大谷經子　佐々木アイ子（六ノ四）櫻庭美代　田代喜美　渉野敬子　村山佳子　菊地恭子　元吉八重　藤井滿惠　高澤ひろ子　鯨岡久子　水野美知　松石重子　吉岡貞子　草野ハツヨ　横山キミ子　吉畑好子　山野邊トミ　稻邊富美子　白土サト　川上菊枝　田村六（二ノ二）鈴木省子　野木美津子　石井美智子　大和田悅子　堅田芳江　栗原フデ　木村雪子　大和田シノ子　清水正惠　三浦ヤヱ子　吉川ツヤ子（高二ノ三）栗田ケイ子　廣邊昌子　佐藤トヨ　宇佐美喜久子　會澤ヨシ　水庭ユキ　大谷トシ　安部清子　小松崎多美　加藤芳子　佐藤トミ子　進歩賞（一ノ一）草野繁子　長谷川友子　稻島トミ　（一ノ二）近藤保子　大村仁美　浦邊芳子（一ノ三）長谷川秀子　金子智惠子　佐藤光子（二ノ一）齋藤潔子　上坂玲子　井坂幸子（二ノ二）金子喜代子　齋木莫　藤居美津子　（二ノ三）吉村トシ子　白土セイノブ子　（三ノ一）鹽坂幸子　長瀨昌子　坂本雅子（三ノ二）佐々木アイ子　（六ノ四）櫻庭美代　田代喜美　渉野敬子　村山佳子　菊地幸子　梅原武子　（二ノ一）近藤シヅイ　小松崎ミツエ　飛田ソヨ

花の松ケ岡宣傳に いそがしい町當局

けふ一齊に人寄狀發送

卯月の聲の近づくに從つて町當局ではいま花の準備に忙しい、外來客の誘致を先づ第一に——と人寄せの繪葉書數百枚はけふ一齊に發送「演藝場」櫻花、縣社子鍬倉祭典、銅像、臨時列車ガソリンカー」等を織り込んだ「中のさくら」の立看板もあす常磐線各驛に掲示する事となつてゐる

尙滿開期間中の臨時賣店特設の申込者は廿八名に上り締切の切迫と共に續々申込みあるといひ、この二十八日午後一時から抽籤により一等地五ケ所二等地一ケ所、三等地ケ所を決定する筈だ

小川橋架替

けふ地鎭祭

小川郷驛前小川橋は從來木橋で腐朽甚しくさきに小學兒童が墜落即死したなど地元民からこれが改修を叫ばれてゐたので平土木監督所では愈々工費一萬二千圓で架替へる事となり今二十五日地鎭祭を擧行、本格的工事に着手する事となつた延長四十八米、幅員五米五十のモダンな鐵筋コンクリート橋、今秋九月頃っ竣功する

漁船衝突（小名濱沖）

幸ひ乘組員は無事

小名濱町漁船壽和丸（船主名は昨二十四日から同村小野崎貞行）は二十二日午前一時半頃歸港の際同町南方四百米沖合で出港の同町漁船磐盛丸（船主丹由之助）と衝突、壽和丸は船先及左側舷部に巾二間餘破損、磐盛丸も船先を小破したが何れも乘組員に異狀なく直に江名町中の作港で修理一たん引揚げた

客をとれと強ひられ 逃走酌婦郡山で捕る

内郷村級料理業みかど事八日午前十時三十四分平驛發の列車で來平、平區裁判所芳賀つる方酌婦伊達郡花庭著刑村字布川生れ渡邊ちよ（三〇）は去る六日前借二百二十五圓で郡山市內小松食堂方から住み替えて來たが抱主から客をとれと強ひられるからと二十二日早朝所持品全部を入質して旅費をつくり郡山迄逃走したが遂に同署員に捕へられた

本町のボヤ

今曉三時半頃平町二丁目一八建築業山添捨吉郎（六三）方から發火勝手口を燒いて間もなく藥庫に放火、未遂に終つた事件は昨二十四日午後二時から牛支部で中島裁判長係り乃木香西兩判事陪席、氏家檢事關與、安齋辯護士立會の下に公判開廷、求刑六月の論告辯護士立會の下に公判開廷、求刑六

呪ひの放火に五年

きのふ平區の判決

水利組合總會は來る二十日午前十時から本園体事務所に開き豫、決算を附議

六白　是までとどこほり居たる事も追々解決に近づく日▲七赤　多辯は後日に爽をのこすべし交際圓滿を期せ▲八白　平穩なるに似て實は然らず輕擧を愼べし▲九紫　本分さへ忘れざれば萬事泰ふる良運日なり

二十六日

（小名濱潮汐表）

日出　五、三三　月出前　七、〇七
日沒　五、五三　月沒後　九、四五
滿潮　前四、五〇　後六、三〇　干潮　前一一、五五　後一一、四五

天氣豫報　小名濱漁業組合觀測所觀測　今晚も明日も北西の風晴一時曇

書科教等中　書科教國々　カバン、手提類　小學生、ランドセル　中學校指定書籍　書籍雜貨各種習用　各種文具類　豊富に取揃へました　書店　田柴・モトマル　番　四四三二一　電話

安齋外科醫院　平町田町　電四七五番

廣告

照山株式平支店　主任常盤光威　福島縣平町田町五　振替東京八八一三六番　電話四十六番

御禮　今曉近火の際は早速御馳付け消火に御盡力被下御蔭樣を以て大事に至らず候段奉深謝候　參堂御禮可申述筈の處混雜の際乍略儀以書中御厚禮申上候　三月二十五日　平町字二丁目　株式會社　常陽銀行　平支店　各位

近火見舞御禮　平町二丁目　日東商會　關內正一　大一屋商店　高島屋洋服店

失火見舞御禮　今曉失火の際は早速御駈付消火に御盡力被下御蔭樣にて大事に不至候段難有奉深謝候實は拜趨御禮可申上筈の處混雜中御尊名御伺洩れも可有之候に付乍略儀以紙上御厚禮申上候　敬具　千代田生命保險相互會社　磐城代理店　草野產業株式會社　平町二丁目　電話二五番

失火見舞御禮　今曉失火の際は早速御駈付消火に御盡力被下御蔭樣にて大事に不至候段難有奉深謝候實は拜趨御禮可申上筈の處混雜中御尊名御伺洩れも可有之候に付乍略儀以紙上御厚禮申上候　敬具　千代田生命保險相互會社　磐城代理店　草野產業株式會社　平町二丁目　電話二五番

保險料率引下陳情　平町の一般保險料率引下運動に關し既報の如く陳情する事になつた町では來る二十八日午後一時から委員會を開き種々協議する事に決定